

新潟市議会 議会報告

特集 平成28年2月定例会議会報告

2016 春の号

新潟市議会報告は、新潟市民の皆様にも市政の取り組みや議会活動をわかりやすく報告し、市政に関心を持っていただくために発行しています。この市政報告紙は政務活動費で発行しています。

新潟市の新バスシステムに賛成か反対かについて、市民の意志を確認することを目的とする

BRT 住民投票条例請求 賛成20、反対30で否決

署名数59,790筆

住民投票条例の要旨

- この条例は、新潟市の新バスシステム(BRT・連節バス)に賛成か反対かについて、市民の意志を確認することを目的とする。
- この目的を達するため、市民による投票を行う。住民投票は、市民の自由な意志が反映されるものでなければならない。
- 市長及び市議会は、住民投票の結果を尊重し、市民の意志が正しく反映されるよう努めなければならない。

請求者の趣旨説明(抜粋)

この議会で問われていることを明らかに致します。BRTは必要という方もいらっしゃるでしょう。多くの政策は、ある人にとっては有益に見え、また別の人にとっては誤って見えます。

民主主義のもとでは、この矛盾は民意によって決めることとなります。多くの方が反対しているのに、特定の人だけが有益だと言って押し進めるのでは、

独裁国家と同じです。市民の意見を聞く場を設けるか、市民の声を信頼するのかどうか、それが問われているのです。その声に応えることができるのは議員のみなさんだけです。

その声にこたえる責任を負っているのはみなさんなのです。市民の切実な声に応え、条例案に賛成して下さるようお願い致します。

市民の意志が
反映されず
残念です



この議案を審査した 委員会で述べた私の発言です

新潟市の新バスシステム(BRT・連節バス)について市民の意志を問う住民投票の制定(議案第167号)に賛成であることを表明し、簡単にその理由を申し述べる。

昨年9月に導入された新バスシステムの進め方には、矛盾が多く存在すると認識している。

例えば、重要要素の専用走行路および交通システム等、走行環境の整備が先送りされていること。路線再編により発生する乗り越し時の料金精算システムが完成されていないこと。連節バスの導入基準が曖昧であり、運行についても運行許可に準拠しない点が見受けられること。

市は、利用者が増えているとするが、実態が不透明であり、バス交通を持続可能なものにするという導入目的が、本当に果たされているのか疑わしいこと。

また、これら全てに関する情報開示が不十分であり、特に市側に不都合な情報開示には、おおいに疑問が残る。

従って、以上の理由から多くの市民においては、本市の新バスシステムに疑問を感じており、意見を聞く場を設けて欲しいという訴えは、正当なものとして理解できることから、賛成するものである。



●市長が与えた運行許可条件は、「申請経路全路線で左端から数えて一番目の車両通行帯を通行する」となっているが、中央車線を走行している連節バス。(東中通4車線)



●快速運行のため、本町バス停を通過する連節バス。新潟の台所・本町商店街は、まちなかの賑わいもなく、閑散としている。(平日午後4時頃)

与えられた職責を果たして参ります。

ごみ指定袋の有料化が始まってからまもなく8年目を迎えますが、市民の皆さんのご協力によって「ごみ減量・リサイクルの推進」の意識が定着し、着実に成果が上がっています。しかしながら「使用頻度の高い20リットル以下の小さいサイズのゴミ袋が薄くて破れやすいので困っている」との声を度々伺ってまいりました。そこで、その旨を所管部署に指摘し改善を求めたところ、今後の発注分から「30リットル以上のサイズの袋と厚みを揃えることに変更して強度を上げる」との回答を得ました。これは、ほんの小さな事象ですが、事の大小にかかわらず今後とも必要なこと、大切なこと、市民のためになることは誰にも遠慮することなく声を上げて参ります。ご意見ご要望等、どうぞお気軽にお寄せください。

新潟市議会議員

公式サイト <http://fukaya-s.net>

発行 / 深谷しげのぶ事務所

深谷しげのぶ



〒951-8061 新潟市中央区西堀通4番町259-58 西堀青藍館ビル305号 TEL 025-378-0177 FAX 025-378-0178

〒950-0088 新潟市中央区万代6-6-4トラパレス101号

新潟市議会議員【中央区】 深谷しげのぶ ●環境建設常任委員 ●観光交流促進調査特別委員 ●会派に属さない議員

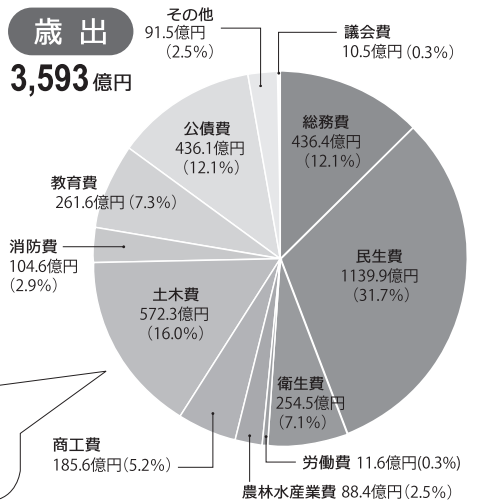
将来への責任



平成28年新年度予算総額 3,593億円が可決

対前年度比
△52億円

新潟市は本年度の予算について『平成28年度は、政令指定都市に移行して10年の節目の年となる。これまで進めてきた「拠点化」と「個性化」の土台にさらに磨きをかけ、市民の皆さんとともに日本一安心して暮らせる「あんしん政令市にいがた」を構築するとともに、一層の財政再建化を図りながら、人口減少や少子・超高齢化に対応した持続可能なまちづくりに取り組む』としています。



一般会計 歳入・歳出予算の内訳

議会費：議員報酬、他
総務費：選挙、戸籍、徴税、防災対策、庁舎管理、他

民生費：生活保護、社会福祉、他
衛生費：ごみの回収・処理、環境保全、保健所、他
労働費・商工費：雇用の拡大、商工業・観光振興、他
農林水産業費：農業・林業振興ほか

土木費：道路、河川、公園、市営住宅の整備、他
消防費：生命と財産を守る救急・消防、他
教育費：学校教育、社会教育、保健体育、他
公債費：市債の元金・利子の償還

まちづくりに関連する主な事業について

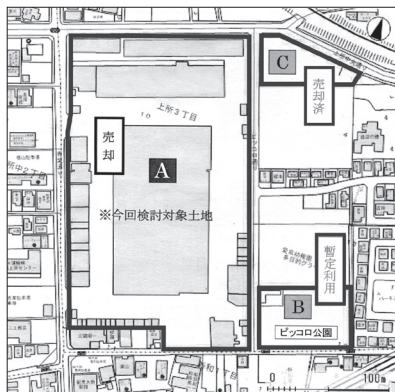
1 旧大和新潟店再開発補助事業

旧大和新潟店と隣接した周辺の建物とを地権者組合の施行によって再開発する事業を、国と新潟市が補助します。28年度は、設計費・解体費・補償費等の補助として9億8700万円を支出し、事業完了までの総額は64億円程度の補助を見込んでいます。

所管部署には、新潟市のこれまでの同様案件の対応は、制度上の要件を満たすことに重きが置かれ、拠点化による活性や、にぎわい創出という本来の目的が達成されていないこと。また、市役所機能の有力移転先としながら、何の情報開示もなく事業認可しようとしていることの問題点を指摘し、説明責任を果たすよう求めました。



●大和新潟店の閉店からまもなく6年、まちなか再生・賑わい創出のシンボルでありながら、再開発より荒廃が加速する古町。



●Aブロック 37,098.17m²(市場本体部分)が、今回の売却予定になります。

3 旧中央卸売市場跡地の売却

跡地の利用方針は、地域から示された方向性を踏まえ、良質な住宅地に囲まれた立地に相応しい、質の高い住環境を創出するための土地利用の転換を図ることとし、公募型プロポーザル方式による事業者認定を行うことで、より魅力的な計画の実施による地域の活性化を目指します。28年度は、売却に必要な調査を実施して、プロポーザル方式により売却先を決定します。

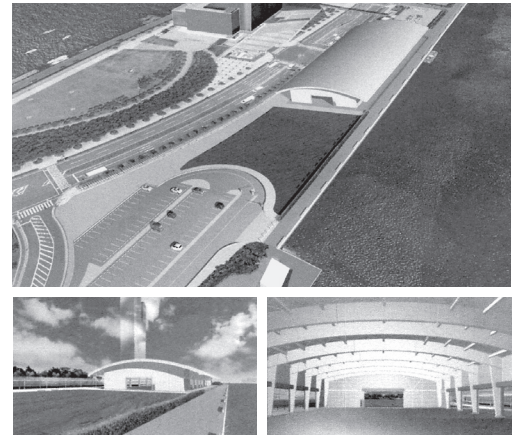


●平成19年5月に江南区に新設されて以来、放置されている旧中央卸売市場跡地(中央区上所3)。広大な土地の有益な利活用が望まれる。

2 旧万代島水揚げ場跡地利用

これまで新潟市では、万代島にぎわい空間の創造事業として、ピア万代の開設や西港にぎわい活動を支援し、みなとの新たなにぎわい創出に努めてきました。現在未利用となっている当該跡地は、交流拠点である朱鷺メッセに隣接し、早期の活用が望まれていることから、新潟港開港150周年を契機に、交流拡大ならびに周辺施設との連携を図るため、多目的広場を整備することとなりました。28年度は基本設計に着手し、30年度中の供用開始を目指します。

所管部署には、隣接する岸壁は漁港として重要な役割を果たしている施設であることに十分留意して、整備・運用するよう求めました。



●多目的広場としての整備が決定。今後は、港湾計画や長期ビジョンを視野に入れた検討を進める。



●東地域保健福祉センターを移転合築し、複合施設として整備。東・北側は民間活用により賃貸マンション建設予定。

4 旧万代小学校跡地利用

プロポーザル方式で民間事業者に売却された部分(民活部分)については、現在マンションの建設準備が進められていますが、その売却益で整備される部分(公的活用部分)には、新潟市子ども・子育て支援事業計画の対象として、低年齢児の保育需要増大に対応するため、公立保育園(万代・長嶺・宮浦)の3保育園を段階的に統合し、東地区保健センターの移転と併せて整備することとなっています。28年度は基本構想と基本計画に着手し、31年度の供用開始を目指します。

所管部署には、混乱を招かぬよう近隣及び利用者への説明を徹底するよう求めました。

園名	現行定員	整備案	増減
万代保育園	70名	合計 150名	50名増
宮浦乳児保育園	30名		
長嶺保育園	90名		

●万代保育園と宮浦乳児保育園について、定員を拡大して移転統合する。
●長嶺保育園は、定員確保のため当分の間存続し、統合時期を検討する。

市政へのご意見・ご質問・ご要望等
何でもお気軽にお寄せください

〒951-8061 新潟市中央区西堀通4番町259-58 西堀青藍館ビル305号 TEL 025-378-0177 FAX 025-378-0178
自 宅 〒950-0088 新潟市中央区万代6-6-4トラパレス101号